

社会科学の計量分析再考:“説明”の評価と解釈に関する数理的開発と検証 Rethinking Quantitative Analysis in the Social Sciences: Mathematical Development and Verification of Evaluation and Interpretation of “Explanations”

下記の通り、公開研究会をオンラインにて開催しますので、ご案内いたします。

■日時: 2022年9月21日(水) 15:00~17:00

■登壇者: 筒井 淳也(立命館大学)

■コメンテーター: 松繁 寿和(高松大学) 林 岳彦(国立環境研究所)
清水 裕士(関西学院大学)

■概要: 近年、社会科学の計量分析において、因果推論(Causal Inference)ブームが生じていることは、皆さんもご存じだと思います。この因果推論ブームをきっかけとして再考を迫られているのが、これまで我々が半ば慣習的に行ってきた計量分析のあり方です。本公開研究会の母体となる科研JP22K18591(<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-22K18591/>)では、今後数年に渡ってこの問題を学際的に議論していきたいと考えております。

そこで、この課題の議論の手がかりとして、昨年『社会学』を執筆され、「社会学とは何か」「計量社会学とは何か」を考察されてきた筒井淳也先生(立命館大学)をお招きし、社会学における計量分析について講演頂きます。本講演を踏まえて、経済学・心理学・因果推論等々の各専門の方々からコメントを頂くことで、これまで(暗黙のうちに)因果推論以外の目的として用いてきた計量分析は何をしており、今後どのように用いていく必要があるのか、またどのような研究が必要となるのか等々の問いについての議論を展開したいと思っております。

ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

■その他

・本セミナーについては、ウェブ会議システム(Zoomミーティングを予定)を使用して実施いたします。開催時刻までにインターネット環境、PC等端末(Webカメラ、マイクが必要)のご用意をお願いいたします。

・その他ご案内はセンターHPをご覧ください。

■申込みはセンターHPよりお願いします。

<https://rihe.hiroshima-u.ac.jp/2022/08/9-21-2022-opensemin/>

